

# 政府与党「医療制度改革大綱」概要

( 2005年12月1日 )

# 安心信頼の確保と予防の重視

## 安心・信頼の確保

- ・遠隔医療の推進
- ・EBMの推進
- ・第三者評価の推進
- ・医療安全支援センターの制度化
- ・医療従事者の資質向上
- ・終末期在宅医療の推進
- ・公益性の高い法人類型の創設
- ・医療法人会計の検討

- ・医師確保のための医療対策協議会の設置
- ・地域医療計画の見直し
- ・医療機関に関する情報提供の制度化

- ・医療費明細付領収書の発行義務

国

都道府県

医療機関

保険者

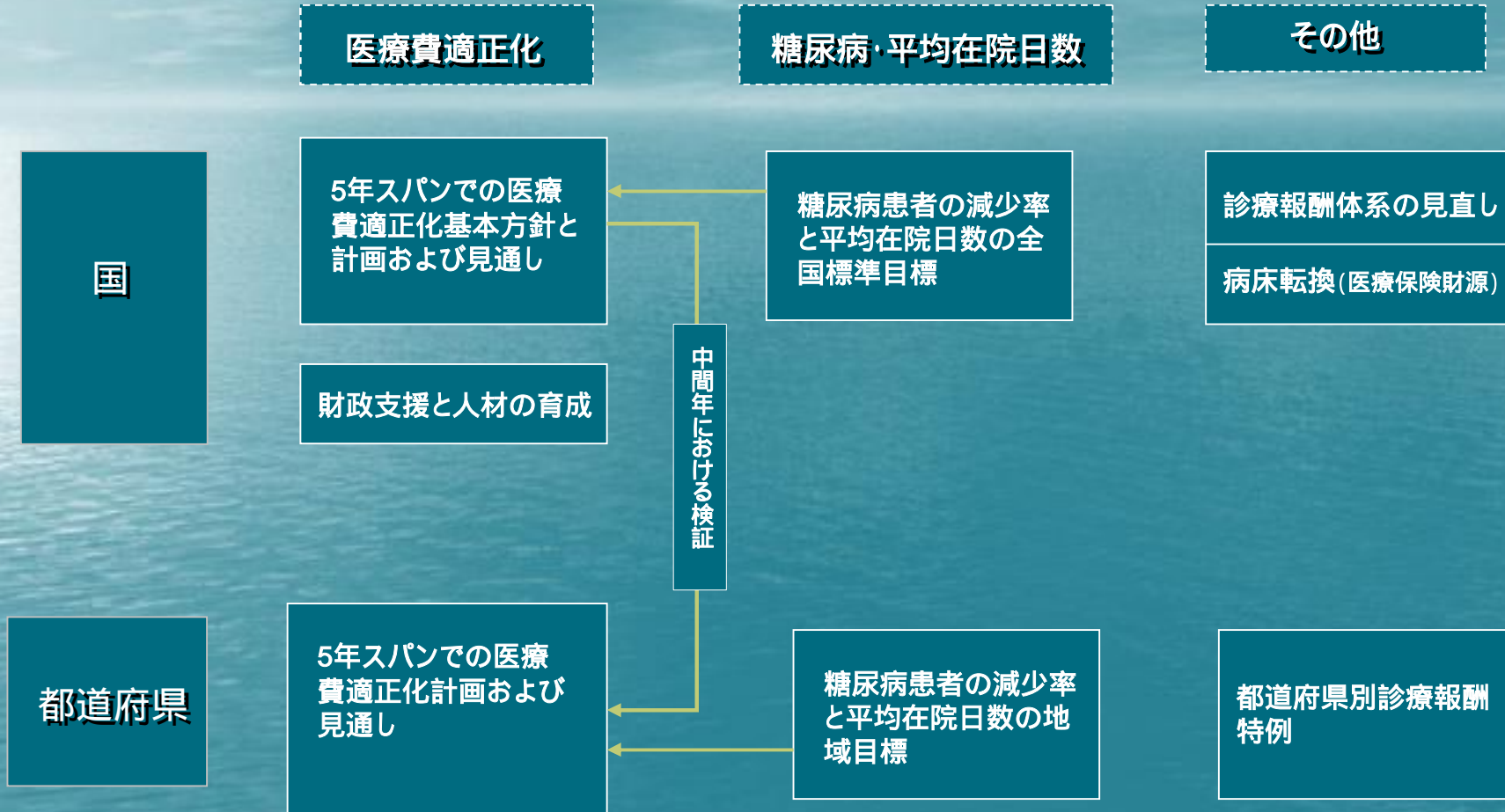
## 予防の重視

- ・予防啓発の国民運動の展開
- ・8020運動の推進
- ・保健指導プログラムの標準化
- ・禁煙支援

- ・健康増進目標の策定

- ・健診・保健指導義務

# 医療費適正化の総合的推進



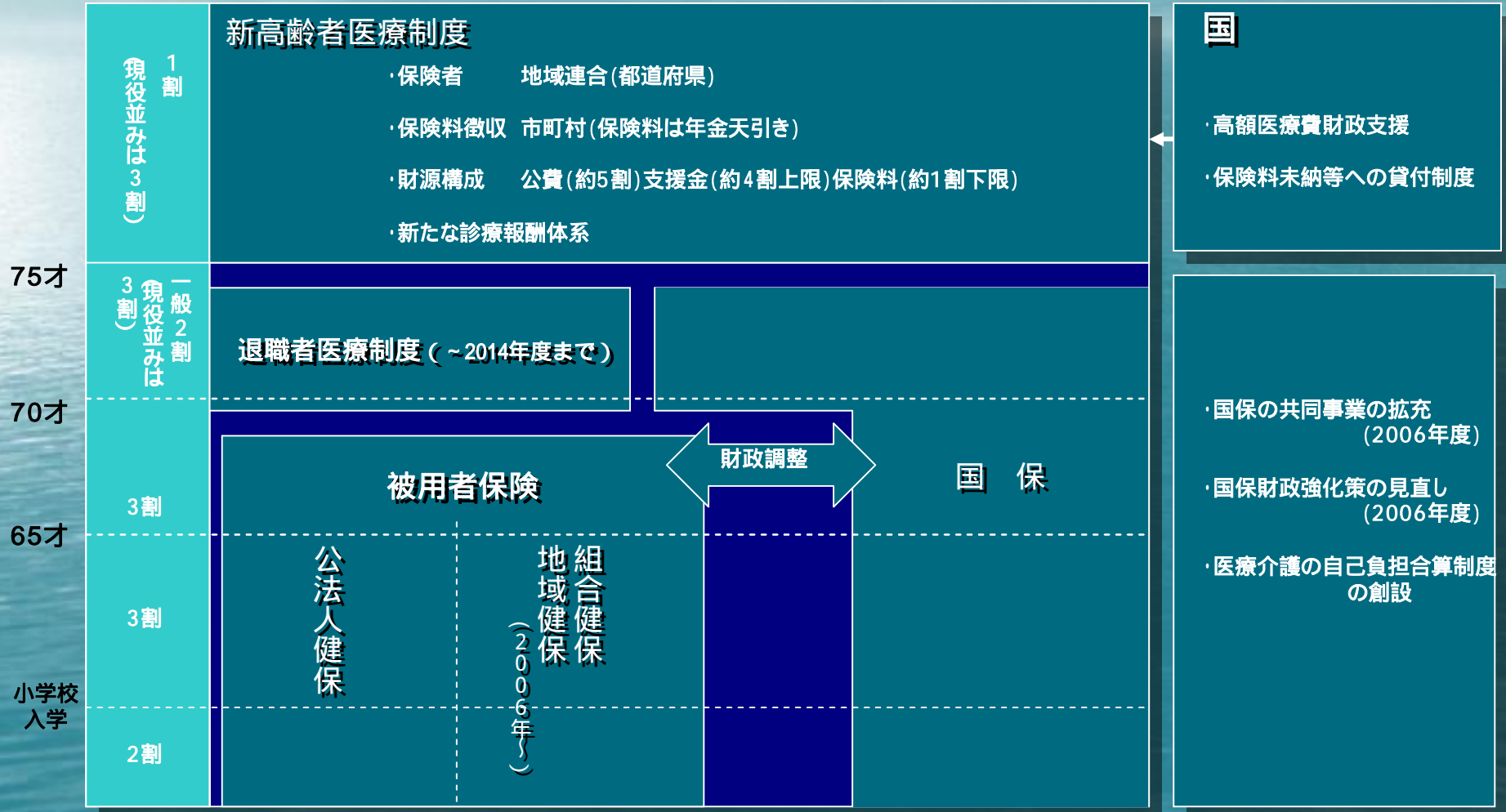
# 公的保険給付の内容範囲の見直し

自己負担の拡大	範囲の縮小
<ul style="list-style-type: none"><li>・70才以上・現役並み所得者の3割負担 (2006年度)</li><li>・高額療養費の自己負担限度額の引き上げ (2006年度)</li><li>・高所得人工透析患者の自己負担限度額の引き上げ (2006年度)</li></ul>	・食費・居住費の給付はずし(2006年度)
	その他
	<ul style="list-style-type: none"><li>・出産育児金の引き上げ(30万円 35万円:2006年度)</li><li>・埋葬料の定額化(5万円:2006年度)</li><li>・全医療機関のレセプトオンライン請求化(2011年度)</li><li>・被保険者証の個人カード化</li><li>・入院窓口負担に高額療養費自己負担限度額方式を導入 (2007年度)</li><li>・標準報酬月額および標準賞与額の範囲の拡大 (2007年度)</li></ul>

# 超高齢化社会を展望した 新たな医療保険制度体系の実現

自己負担

## 2008年度医療保険制度の姿



低所得者は自己負担限度額据え置き

## 診療報酬の見直し

診療報酬	薬価	その他
<ul style="list-style-type: none"><li>・2006年度の診療報酬の引き下げ</li><li>・急性期医療の看護配置はプラス評価</li><li>・慢性期入院医療はマイナス評価</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・薬価・保険医療材料の価格引き下げ</li><li>・後発品のある先発品の薬価引き下げ</li><li>・画期的新薬は引き上げ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・処方箋様式の変更</li><li>・医薬品の審査の迅速化</li><li>・中医協委員の団体推薦規定の廃止(2006年度)</li></ul>